

## 2022 年度第 2 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2022 年 9 月 9 日(金) 15 時 00 分～16 時 00 分

場所：WebTV 会議

出席者：出席者：(SPRUC 会長) 西堀英治、足立伸一、伊藤廉、片山芳則、北川宏、久米卓志、中川敦史、西原克浩、原田慈久、藤原明比古、船城健一、水牧仁一朗、内海渉、尾角英毅、尾嶋正治、川村朋晃、坂本直紀、高田昌樹、田中義人、長井康貴、水木純一郎、矢代航、渡辺義夫、綿貫徹（以上、評議員（幹事兼務含む））

谷山明、鈴木基寛、小林正起、松田巖、松下智裕、杉本邦久、松村大樹、南後恵理子、久保田佳基、永村直佳（以上、幹事）

（SPRUC 事務局）岡田行彦

（以下、オブザーバー）中村潤、山口 章、坂田修身、大端通

1) 議事に先立って西堀会長より挨拶があった。また、前回議事録（資料 1）の確認があり、評議員等から質問等なく確定された。

### 報告事項

- 1) 杉本行事幹事より、資料 2 に基づいて SPring-8 シンポジウム 2022 の実施内容について報告が行われた。また、SPRUC Young Scientist Award (YSA) の選考委員会の実施報告と二名の受賞者について報告が行われた（資料 3）。
  - ・SPring-8 シンポジウム 2022 の参加者は、今日までに 400 名弱のオンライン参加登録があり、現地参加者登録は 50 名（100 名上限）であることが報告された。
- 2) 松村行事幹事より資料 4 に基づき、3 年ぶりの 9 月開催となった秋の学校の実施報告が行われた。
- 3) 久保田会計幹事より、資料 5 に基づいて 2022 年度予算執行状況の報告が行われた。また、資料 6 に基づき、SPring-8 シンポジウム 2022 の会計予算について報告が行われた。
- 4) 小林利用幹事より資料 7 に基づき、第 6 期研究会開催状況について報告が行われ、すべてオンライン開催である旨の報告があった。
- 5) 鈴木庶務幹事より、資料 8 に基づいて第 11 回代表機関会議の議題について報告が行われると共に代表機関と機関代表についての確認が行われた。また、第 12 回評議員選挙（資料 9）のスケジュールについて報告が行われた。

### 審議事項

- 1) YSA の尾嶋選考委員長より、資料 10 に基づいて YSA の受賞人数等の変更について提案があった。
  - ・2 名以内の規定を「原則」2 名以内と変更し、応募者数の多い場合などに対応可能とすることや、現行の 35 歳以下の制限に対して、産休・育休・介護による研究機関の中

断を考慮することが提案された。受賞人数に関しては特段の反対意見がなかった。年齢については、中断があった場合でも 38 歳までとするなど制限を設けるか否かの議論が行われた。基準を明確にすべきという意見と明確にせず個々に判断との意見があった。

- ・研究中断の理由として、上記の育児、介護だけでなく企業に移った場合を考慮に入れるべきとの意見があった。

- ・現状は YSA に対する規約が存在しないため、SPRUC の内規として整備すること（提案 2）や SPRUC 評議員による審議の追加（提案 1）、賞名の変更の提案（提案 3）が行われた。賞名については、SPring-8/SACLA を冠するなどのような賞かわかりやすい名や、若手奨励賞などの日本語名が望ましいのではといった意見があった。

- ・提案 1、2 については反対意見なし、提案 3 の賞名については審議続行となった。

## 連絡事項

- 1) 鈴木庶務幹事より、資料 1 1 に基づいて今後の予定の説明と確認が行われた。

以上